



大分東署管内24年まとめ

刑法犯31%増495件

自転車・バイク盗が最多



【大分】大分東署管内で2024年に確認された刑法犯の件数は495件で前年から116件増えた。増加率は31%で県全体の15%を大きく上回った。同署は管内の人口が増えていることなどが要因と分析。安全・安心な街づくりに向け、防犯意識の向上を呼びかける。

最も多かったのは自転車やバイクの盗難で178件（前年比96件増）。全体の36%を占めた。無施錠の自転車を中心に、大学やJＲ駅で被害が頻発。移動手段として使われた後、商業施設などに乗り捨てられるケースが多かったという。

このほか、万引が76件同

人口増など要因と分析

10件増）、車上狙いが28件（同4件増）と続いた。未成年者らのグループによるバイク窃盗や万引なども確認され、20歳未満の摘発者数は40人と、前年の10人から大幅に増えた。

同署は人口増に加え、コロナ禍後の人流回復が刑法犯の増加につながったとみている。対策として▽署員劇団「しのめ座」の防犯公演▽同署オリジナル防犯キャラ「さば侍」グッズ制作▽大学での出前講義▽防犯ボランティアとの駐輪場の巡回―に取り組む。

管内では交通事故も増加。人身事故は306件（同53件増）、物損事故は3342件（同181件増）に上った。交通量が多い県道鶴崎大南線（森町バイパス）や商業施設の駐車場などで多発傾向という。

三宅博昭副署長は「由々しき状況。取り締まりや、防犯意識を高める呼びかけを強化したい」と述べた。

（小林滋）



〔問①〕 大分東署管内で2024年に確認された件数は、前年に比べ大幅に増えました。何件増えましたか。

116件

〔問②〕 最も多かったのは何の盗難ですか。

自転車やバイク

〔問③〕 大分東署は刑法犯の増加の要因をどういったことと考えていますか。

人口増、コロナ禍後の人流回復

〔問④〕 刑法犯を減らすにはどうしたらいいと思いますか。考えよう。

自由記述